

恵風会だより

第 12 号

2013

(平成25年)

1.1

創立 110 周年記念号

社会福祉法人 恵風会 〒371-0017 前橋市日吉町 2 丁目20番地14 TEL(027)231-3430 FAX(027)231-3420

当社会福祉法人恵風会は本年二月、前身の上毛慈恵会養老院創立から一一〇年の歴史を礎き、今日の充実した事業体に成長いたしました。

先に一〇〇周年の記念行事を行ってより一〇年を経過し、その間一日一日の介護業務に挺身して、皆様に信頼される実績を積み重ねてきたものと感じております。

一世紀以上

の老人福祉事業の変遷を要約すれば次のように特徴づけられると思います。

◎生活保障から福祉の理念確立

一、戦前の篤志家によって支えられてきた慈善事業から、戦後の新憲法体制下で国の重要施策として新発足をとげ、

巻頭言



一二〇年の歴史をふりかえって 貴重な体験を生かし 新たな福祉の推進を

理事長 田辺

誠

①まず敗戦後の困窮者救済として生活保護の仕組みがとられ、民間の戦前からの施設を活用して「措置制度」として恒常的に運営されてきた。

②戦後の復興が進む中で老人福祉の基本的理念を確立する必要にせまられ、施設経営者等からの強い

福祉法人がその中心的役割を担う存在であることが認められ、国民の関心と理解が深まり、施設の増強が急速に進み、更に生活しやすい環境づくりが要請せられる設備の近代化がはかられるようになった。

◎介護保険法の制定
三、しかしその反面、高齢

ムによって運用されることになり現在を迎えている。
四、以上のような変転する制度の運営に当たっても「生きがいのある老後を持続発展させることが重要である。

①現在の施設中心の状況は当面大きく変わることはないが、自宅で老後を送りたいとの恒

常的な思いを尊重して在宅重視の介護をより充実することが求めら

要望を受けて一九六三年（昭和三十八年）「老人福祉法」の制定を見て老人を人生の先達者として敬愛する精神の下での事業運営が義務づけられて今日に至っている。

◎社会福祉法人の役割増大
二、生きがいのある老人福祉事業の拡大の中で、社会

化が急速に進む中で事業の適正な運営を保持するため「措置制度」を変え、国と国民との応能負担による新しい制度づくりがはかられ二〇〇〇年（平成十二年）に「介護保険法」が制定され、ここにわが国の社会保障制度は年金、医療、介護の三分類ともに保険システ

②法人・施設の充実した運営を推進するため今日的に地域社会との連携を密にすることが求められており、地域に信頼される施設の体制づくりとも

に、地域貢献への意欲を持ち積極的活動を展開する。

◎新しい介護制度を目指す

五、このように現行の法秩序の下での工夫、努力の積み重ねが大切であることは当然であるが、同時に将来に向けた、より高い改革を考察することが要請されている。

例えば、

①在宅重視の政策遂行のためにすでにドイツ等で実施し、成果を収めている元氣な家族による介護に對して現物給付だけでなく現金給付を取り入れ（家族に介護することへの喜びと意気込みを与える）、施設依存の増大にストップをかける。

②施設は重度の認知症ないし環境に全く合致出来ないお年寄りの介護を重点

に対応することとし、軽度または快復過程の老人を対象にした施設へと分化することを検討する。

③中学校単位の介護のサークル化を目指し、相互結びつきによる体制化をはかる。

◎法人の連繫強化

六、これらの改善策を検討、具体化をはかるためには国の措置、対応が優先されるべきは当然であるが、これと並行して長い歴史の中で先達者によつて構築されたネットワークによる研鑽と組織による提言を最大限尊重し、より良い制度改革に結びつけていただきたいと思うのである。

◎恵風会の現況と特色

戦後の老人福祉事業が法秩序によつて新しく出発したのは社会福祉事業法（後に社会福祉法に改編）が制定された一九五一年であ

り、恵風会はいち早く一九五二年社会福祉法人の認可を受け、これによつて戦前から五十年続いてきた個人経営による忍苦に満ちた経験から一応脱却して、国の保護と支配を柱とした福祉事業を受け持ち、以降六十年間事業を継続発展させて今日に至り、現在では法人として許容される限度に近い規模と内容を持った老人福祉事業を展開しておる状況にあります。

○第一種社会福祉事業

①養護老人ホーム（前橋老人ホーム定員八十名）

②特別養護老人ホーム（恵風園定員五十名）

○第二種社会福祉事業

①短期入所事業（恵風園シヨートステイ定員七名）

②デイサービスセンター（恵風園デイサービスセンター定員四十名）

③老人居宅介護等事業（恵

風園ホームヘルパーステーション）

○公益事業

①居宅介護支援（居宅介護支援事業所恵風園）

②地域包括支援センター（前橋市地域包括支援センター中央東）

③介護予防支援（②のセンター内）

以上の概要が示すように、それぞれの事業が独立性を持って実行力を発揮しているが、各実務間の連繫を密にすることによって、

成果が倍増され、多面的な活動がその結果にプラスに作用し、法人全体の目的達成に寄与しているとの印象を強く持っています。

地元をはじめ周辺の人達から寄せられる暖かい賛同の声を列挙して感謝の意志表示にさせていただきたいと思っています。

○長い歴史を刻んでいるこ

とから「恵風会」といえば「あの老人ホームだね」と理解していただけると。

○最近の法人等は新しい施設をつくる際、土地取得の困難さもあつて市街地から離れた位置に建設することが多い中で恵風会は戦前から現在地にあつて施設を持っていることが大きな利点になっている。

○法人の雰囲気が明るいと同時に各セクションにある職員の仕事ぶりと対応が親しみ深いことに好感を持つことが出来る。

○地域の関係者から信頼され、相談される機会が多いことは法人の性格上最も歓迎することであろうと思います。

このような心のこもった声援に応え、より良い法人であるよう精進しなければ

ならないと決意を新たにしております。

◎結びに代えて

課題が山積する老人福祉事業ですが、その基本的姿勢は「質の高い介護」「心のこもったターミナルケア」が大切であることに変わりはないと確信します。

初代院長で六十年にわたる老人介護に生涯を捧げた田辺熊蔵は老人福祉に携わることの幸せを、

「お年寄りが天国にたどりつく橋渡しを成し遂げることにある」

と語っています。一一〇年を迎えた恵風会に關係する私どもはこの精神を受け継いで、お年寄りが生きることの大切さを感じてもらえるよう、皆さんと力を合わせ、更なる努力を積み重ね、先人のご労苦に報いていきたいと念願しております。

恵風会一一〇周年を祝って

「慈善事業」から「福祉事業」への道へ



社会福祉法人上毛愛隣社

理事長 細谷 啓介

創立一一〇周年を迎えられたことをお祝い申し上げます。上毛愛隣社も上毛孤児院として発足以来、創立

一二〇年を迎えました。恵風会と上毛愛隣社は「宮内文作翁」という同じ創立者

を持つ、いわば兄弟の社会福祉法人です。宮内文作翁

の詩いた福祉の種が一一〇年を超えて大きく育っていることを思い、共に喜びを

分かち合いたいと思います。

現在のテルサの処で住吉屋という旅館を経営していた宮内文作翁は義侠心が強く、困っている人を見ると

じつとしていられない人だったそうです。

妻を亡くして子どもを抱え、歩行困難で生活苦のために自殺をしようとしていた親子を、引き取って旅館

の一隅で世話をしました。この人はわらじ作りを始め

ました。人力車の車夫は、住吉屋へ客を連れて行くと

わらじがただでもらえるということで、住吉屋はお客様が増え、たいそう繁盛したそうです。

このころから宮内翁は養老院の創立を考えていたといわれます。正義感が強く、田中正造氏を招いて講演会

を開いたり、鉅毒反対運動で逮捕され前橋刑務所から出獄した永島与八氏を上毛孤児院の事務員として雇うなど、足尾の鉅毒事件にも支援の手をのばしています。

右手で孤児院を支え、左手で養老院を支え、様々な事績を残された宮内翁を評して、救世軍の山室軍平氏は「思ウ二翁ハ上州ノ長脇

差的気性ニ 基督ノ慈愛ヲ以テ『パプテスマ』セラレタル代表的ノ人物ナリシナルベキカ、忠臣蔵ノ『天野

屋利平ハ男デゴザル』ト申候 其天野屋ヲ『クリスチ

ヤン』ニナシタルモノ即チ宮内文作翁ナリシニアラザ

ルベキカ」と述べておられます。

上毛孤児院は金子尚雄氏が、前橋養老院は田辺熊蔵氏が後を受け継ぎ、公的な支援がほとんど得られない

中で、言葉に尽くせぬほどの多くの困難を乗り越えてきました。

勝海舟は上毛孤児院の金子尚雄氏に「経暑経寒不否其苦逢飢逢疾不退其業」という書を贈っています。

田辺熊蔵氏も暑さ寒さにあつても、飢えと疾病にあつてもその業を退かなかつたのです。

永年にわたるそうした努力が宮内翁のともした「慈善事業」の火を「社会事業」に、そして「福祉事業」の火へと進化させ、共生の社会を目指す社会福祉への道を切り開いたのです。

恵風会の一一〇年の歩みは、日本の老人福祉の歩みの歴史であり、田辺氏の掲げた光は一一〇年を経てその輝きを失っていないのです。恵風会のますますの充実発展を祈り、重ねてお祝い申し上げます。

い申し上げます。

恵風会一一〇年の歩み

西暦 年次 月 日 摘 要

| | | | |
|------|------|------|------------------|
| 一九〇三 | 明治三六 | 一・三〇 | 東京に養老施設を設立す |
| 一九〇七 | 四〇 | 二・一六 | 上毛慈恵会養老院を創立す |
| 一九〇九 | 四二 | 四・二六 | ブース大将来朝宮内翁と会見す |
| | | 六・一〇 | 宮内文作病臥す |
| | | 九・一〇 | 森川抱次と後藤源九郎に後事を托す |
| | | 九・一五 | 田中耕太郎養老院主管者となる |
| | | 一〇・七 | 創立者宮内文作逝く（七六歳） |
| 一九一一 | 四四 | 一・一 | 藤井万喜太養老院主管者となる |
| 一九一三 | 四六 | 二・一一 | 田辺熊蔵初代院長となる |
| 一九一四 | 四七 | 八・一五 | 田辺院長矢島里子と結婚す |
| 一九一五 | 四八 | 一・二〇 | 養老院を一毛町に移転す |
| 一九一七 | 五〇 | 四・二〇 | 養老院を百軒町に移転す |
| 一九一八 | 五一 | 一・一 | 養老院を芳町に新築移転す |
| 一九二〇 | 五三 | 一・一 | 宮内未亡人寿み子逝去す |
| 一九二一 | 五四 | 一・一 | 宮内翁頌徳記念碑を建立す |
| 一九二二 | 五五 | 一・一 | 森川抱次県会議長となる |
| 一九二四 | 五七 | 一・一 | 関東大震災 |
| 一九二六 | 五九 | 一・一 | 愛隣館無料宿泊所を創立す |
| 一九二八 | 六一 | 一・一 | 御内帑金一五〇〇円下賜さる |
| 一九三二 | 六五 | 一・一 | 前橋養老院を東町に新築す |
| 一九三四 | 六七 | 一・一 | 救護法により委託収容を開始す |
| 一九四二 | 七五 | 一・一 | 久松侍従御派遣 |
| 一九四三 | 七六 | 一・一 | 田辺院長養老院歌を作る |
| 一九四四 | 七七 | 一・一 | 田辺院長藍綬褒章を授かる |
| 一九四五 | 七八 | 一・一 | 空襲により施設全焼す |
| 一九四六 | 七九 | 一・一 | 国庫補助により復旧再建す |
| 一九四七 | 八〇 | 一・一 | 財団法人認可さる |
| 一九四八 | 八一 | 一・一 | 夫婦寮三室落成入寮す |

東京に養老施設を設立す

上毛慈恵会養老院を創立す

ブース大将来朝宮内翁と会見す

宮内文作病臥す

森川抱次と後藤源九郎に後事を托す

田中耕太郎養老院主管者となる

創立者宮内文作逝く（七六歳）

藤井万喜太養老院主管者となる

田辺熊蔵初代院長となる

田辺院長矢島里子と結婚す

養老院を一毛町に移転す

養老院を百軒町に移転す

養老院を芳町に新築移転す

宮内未亡人寿み子逝去す

宮内翁頌徳記念碑を建立す

森川抱次県会議長となる

関東大震災

愛隣館無料宿泊所を創立す

御内帑金一五〇〇円下賜さる

前橋養老院を東町に新築す

救護法により委託収容を開始す

久松侍従御派遣

田辺院長養老院歌を作る

田辺院長藍綬褒章を授かる

空襲により施設全焼す

国庫補助により復旧再建す

財団法人認可さる

夫婦寮三室落成入寮す



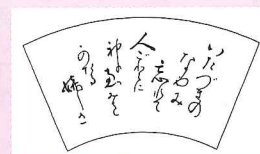
宮内文作翁



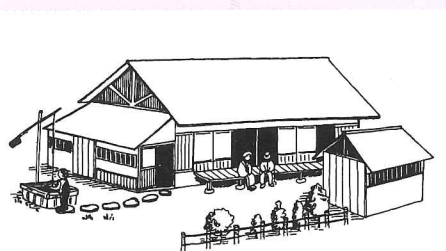
夫人 寿み子



宮内翁から後事を托された森川抱次



宮内翁病中の作



創立当時の上毛慈恵会養老院（前橋市田中町）

| | | | |
|------|---------|------|---------------------------|
| 一九四八 | 二二 | 六・二〇 | 院長夫人田辺さと子永逝す |
| 一九五二 | 二七 | 三・一四 | 社会福祉法人認可さる |
| 一九五三 | 二八 | 一・二〇 | 創立五十周年記念会を開催す |
| 一九五四 | 二九 | 六・一〇 | 納骨塔を建立す |
| 一九五六 | 三一 | 八・二一 | 森川抱次召天す（八十八歳） |
| 一九六四 | 三九 | 一一・三 | 田辺院長勲四等瑞宝章を賜わる |
| 一九六五 | 四〇 | 三・二八 | 講堂及び食堂落成す |
| 一九六六 | 四一 | 九・一五 | 敬老の日定まる |
| 一九六七 | 四二 | 五・一二 | 前橋老人ホームと改称す |
| 一九六九 | 四四 | 六・二八 | 角田儀平治理事長となる |
| | | 七・一 | 田辺熊蔵名誉院長となる |
| 一九七二 | 四七 | 四・一 | 大友醇施設長となる |
| 一九七三 | 四八 | 二・一四 | 前橋老人ホーム七十年史成る |
| | | 三・一〇 | 創立七十年記念会を県民会館にて開催す |
| | | | 前橋養老院発祥地碑を建立す |
| 一九七七 | 五二 | 五・七 | 初代院長・法人初代理事長田辺熊蔵逝去 |
| 一九八〇 | 五五 | 五・一 | 施設を全面改築、養護老人ホームに特別養護老人ホーム |
| | | | 恵風園を併設 |
| 一九八四 | 五九 | 三・二四 | 森進一チャリティーショー |
| 一九八五 | 六〇 | 六・一 | 田辺誠理事長就任 |
| 一九八七 | 六二 | 一〇・三 | 八代亜紀チャリティーショー |
| 一九九六 | 平成 八 | 三・一 | 施設一部増改築 |
| | | | 前橋市恵風園デイサービスセンター開設 |
| 一九九七 | 九 | 三・一 | 前橋市在宅介護センター恵風園開設 |
| 一九九八 | 一〇 | 八・一七 | 第二代理事長角田儀平治逝去 |
| 二〇〇〇 | 一二 | 六・二〇 | 杉良太郎老人福祉チャリティーショー |
| | | 四・一 | 介護保険法発足 |
| 二〇〇三 | 一五 | 四・一 | 恵風園ホームヘルプサービスオープン開設 |
| | | 一・二四 | 恵風園居宅介護支援事業所開設 |
| 二〇〇七 | 一九 | 二・一三 | 皇太子殿下・同妃殿下恵風会をご視察 |
| 二〇一〇 | 二二 | 四・一 | 創立百周年記念式典を開催 |
| | | | 養護・特養風呂厨房改修・食堂新設・養護個室新設 |
| | | | 前橋市地域包括支援センター中央東受託開設 |



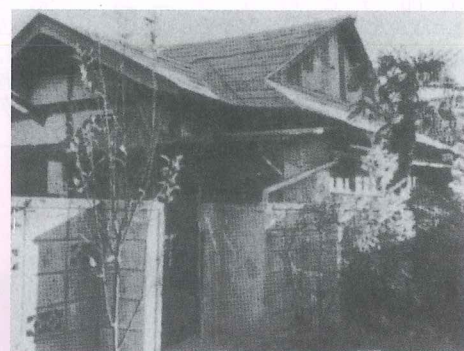
第三代理事長
田辺 誠



第二代理事長
角田儀平治



初代院長・初代理事長
田辺熊蔵



前橋市芳町に新築された前橋養老院

事業活動報告

前橋老人ホーム

おめでとう、百歳を祝って



ご利用者がおり、ご家族をお招きしてお祝いをいたしました。職員全員で書いた寄せ書きや百歳のお祝いメッセージを入れたケーキをとっても喜んでいただきました。余興としては、職員がAKB48のダンスとソーラン節を披露しました。また、ご利用者と一緒に楽しめる

ようにと合唱を行いました。誕生会は、三ヶ月に一度ということもあり、ご利用者はもちろん職員も楽しみな行事となっております。



お地藏さんに台掌



前橋老人ホーム三階の廊下に「お地藏さん」がや

つてきました。地藏堂とまでは行きませんが、お地藏さんの家を施設長、職員で制作しました。入居者の方々は、「拝めるのがありがたいねえ」と通りすがりに手を合わせています。また、毎日花や水を手向け、自信の健康や家族の健康を願う心の拠り所となっているようです。

お地藏さんいつまでもホームのお年寄りを見守ってください。

誕生会

前橋老人ホームでは、三ヶ月に一度、盛大な誕生会が行われます。九月二十六日に七・八・九月生まれの方の誕生会を行いました。また、今回は百歳を迎えた



年に一度のお楽しみ



秋の一泊旅行

前橋老人ホームの恒例行事の一つに、秋の一泊旅行があり、今年は十月九日、十日で草津温泉に行ってきました。紅葉には早い時期でしたが、草津温泉の名物である湯もみショーを見たり、温泉や食事を堪能した

り、とても喜ばれていました。二日目には、猿ヶ京まで足を伸ばし、まんてん星にて、お芝居を見てきました。来年もご利用者に喜んで頂ける一泊旅行を考えていきたいと思っています。

念願の勝利



秋のスポーツ大会
十月十七日、県内の養護

老人ホームに入所されているご利用者が集まり、年に一回開催される秋のスポーツ大会に参加してきました。今年も赤堀のふれあいスポーツプラザが会場で、参加したご利用者さんは屋外のさわやかな空気を満喫してきました。

前橋老人ホームは、理事長の名前を頂き「Makoちゃんs」というチーム名で、スマイルボーリングに出場しました。昨年まではなかなか勝つことができませんでした。今年は勝つことができ、参加したご利用者も喜んでいました。来

恵風園

バラ園見物



ちようど見頃の時期で満開のバラに参加された皆さんから、「いろんな色があるんだね」、「いっぱい咲いてきれいだね」など、喜んでいただけました。

十一月開催となり、気温も心配でしたが、幸い天気にも恵まれ、それぞれの利用者様が思い思いのリンゴ

りんご狩り



「前橋祭り」で踊る職員の応援に行こう」という企画で、前年度に引き続き恵風会職員有志による、だんべえ踊りを見物し声援をおくってきました。普段、ホームで見るとは違う職員の気合いを入れて踊っている姿に見入っていました。利用者さんの感想は「上手だね」「かつこよかったね」とお褒めの言葉をいただきました。来年も気合いを入れてがんばります。

応援！前橋祭り



が、毎年学年毎に慰問に来

城東小学校の生徒さんとの交流



手を取り、ご満足されておりました。

.....

畑を借りて毎年じゃがいもを植えています。春先に植えた種いもたちが、元気に育ち今年も豊作！楽しみはいもを掘り出す「土いじり」懐かしいですね。掘りたいもは、皆さんに持ち帰って貰ったり、恵風会全体の納涼祭でじゃがバターにし食べました。ほくほくで大好評でした。

.....

じゃがいも堀り



前橋市恵風園 デイサービスセンター

目指せ「元気で明るいまちづくり」

今年も「介護予防まつりinまえばし」に参加してき



前橋市地域包括 支援センター中央東

.....

玉入れ・借り物競走・パン食い競争・応援合戦など皆さんやる気満々で、とても盛り上がった運動会でした。

.....

デイサービス運動会



てくれ、ダンスや歌を歌ってくれ利用者さんと交流を深めてくださっています。利用者さんからは「自分も若返ったような気持ちになったと皆さん笑顔でした。

.....

栄養・調理課

ゼリー食開始から2年

栄養・調理課では、今期のゼリー食の向上に一丸となって取り組んでいます。ゼリー食作りを始めてから、約二年が経ちました。ようやく見た目にも味にも良いものが提供できるようになりました。今後も改善を加えながら、ご利用者の皆様においしく食事を召し上がっていただけるように頑張っていきます。

ました。このまつりは、前橋市介護高齢課介護予防係と、地域で活躍している介護予防サポーターさんが主体となり「元気で明るいまちづくり」を目指して、毎年大々的に行われている催しです。地域包括支援センターはクイズや寸劇、パネル展示等で『認知症予防・介護予防』の必要性を市民の方に呼びかけてきました。城東・若宮・中川地区からもたくさんの方が参加があり、実りある楽しいイベントになりました。

日常を忘れて暑気払い



恵風会納涼祭

今年も夏の一大イベント納涼祭で盛り上がりしました。余興の目玉は、「風神太鼓」と「厩橋チンドン」でした。風神太鼓は、直径1mの太鼓が圧巻の迫力でした。また、利用者も一緒にたたかしてもらった参加型の内容で非日常を体験



【ゼリー食】ゼリー粥、鮭の塩焼き、大根卸し、牛蒡と鶏肉の旨煮、小松菜のお浸し、グレープフルーツ缶



【常食】ご飯、鮭の塩焼き、大根卸し、牛蒡と鶏肉の旨煮、小松菜のお浸し、グレープフルーツ缶

でき楽しい時間でした。厩橋チンドンは、見ているだけで懐かしい「チンドンや」の一行が、利用者も一緒に口ずさめる曲の数々を披露してくれました。ありがとうございました。

職員は、踊り「ソイヤー」と「よさこい・よつちよれ」を一生懸命練習し披露しました。

職員の踊りを見ることを楽しみにしてくれている利用者さんからは、「良かったよ」とお褒めの言葉を頂きました。

また、お祭りの楽しさと言えば食べ物です。毎年利用者さんが楽しみにしているのも、暑い中、施設長・課長を筆頭に職員一同汗まみれになり焼き物等を準備し、好評でした。

参加して下さった利用



者の皆様、地域のボランティアの皆様には、夏のイベントを楽しんでいたのだと思います。また来年も期待していただきます。

.....

富士スバル労働組合連合会より福祉車両を寄贈



平成二十四年十月三日に

富士重工関連労働組合連合会殿より車いす対応スロープ付き福祉車両の寄贈を受けました。富士重工関連の労働組合員の方々の福祉に対するご理解と善意の賜です。我々恵風会役職員全員が感謝の気持ちを忘れず大切に愛用していきたいと思えます。心より感謝御礼申し上げます。ありがとうございます。なお、車は富士重工の軽自動車ディアスの福祉対応車両で、小回りが利くため前橋の狭い路地では非常に扱いやすい仕様です。

恵風会大運動会



十月二十四日に日吉町二

丁目公園をお借りし、恵風会全体の運動会を開催いたしました。相愛館保育園の園児・園長先生・職員の皆様に参加していただき、運動会と一緒に盛り上げていただきました。利用者の皆様は、今年も園児のかわいらしい踊りや一緒に行う競技を楽しむことができた大変喜んでいました。近隣の皆



様、ボランティアの皆様、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。



.....

花を通して心のやり取り



勢多農林高校との交流

地域交流の一環として、勢多農林高校の緑地工学科の生徒さんが制作した花壇の展示場所として恵風会のロビーやデイサービスのフロア、恵風園の食堂を提供しています。生徒さんは自

分たちの作品で利用者さんが喜んでる姿を見て自信を付けていました。また、利用者さんも花壇を見て「上手にできているね」「きれいだね」「緑があるといいね」と喜んでいました。これからも続けていけるといいですね。

編集後記

この度110周年記念号を発刊することができました。御協力頂きました方々には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

編集にあたり改めて110年の歴史の重みを感じることができました。私たちは、先人の功績を学び、自分たちも日々歴史の中にいる事実を認識し、今日この瞬間が明日になれば歴史になってしまうことを年頭におき、日々一生懸命悔いなく何事にも向かっていく姿勢で前進したいと思います。

恵風会だより 第12号

発行日 平成25年1月1日
社会福祉法人 恵風会
発行人 田 辺 誠
〒371 0017
前橋市日吉町2丁目20番地14
電話 027(231)3430